Ι	調査の概要	
	1. 調査の目的	3
	2. 調査項目	3
	3. 調査の設計	3
	4. 回収の結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	5. 報告書の見方	4
	6. 標本誤差について	4
	7. 調査対象者の抽出	6
Π	調査結果の概要	
	1. 回答者の属性	11
	2. 質問と回答	13
Ш	調査結果の分析	
	1. 定住性 ·····	31
	(1) 居住年数	31
	(2) 定住意向	34
	(3) ずっと住み続けたい理由	39
	(4) 当分は住み続けたい期間 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
	(5) 区外へ移りたい理由	46
	(6) 住んでいるまちが魅力的か ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
	2. 暮らしやすさ	51
	(1) 住んでいるまちの暮らしやすさ	51
	(2) 生活環境の満足度 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	54
	(3) 住んでいるまちにどのようになってほしいか	60
	3. 基本目標1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち …	63
	(1) こどもの権利(または「児童の権利に関する条約」) の認知度	63
	4. 基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち	66
	(1)区内の歴史や文化、芸術に親しめる環境、気軽にスポーツ、健康づくりに	
	取り組めたり、自由に学びを深められる環境への満足度	66
	(2) 区内の環境に満足している理由	
	(3) 区内の環境に満足していない理由	
	(4) 男女の地位平等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	(5) 大田区は国際交流、多文化共生が進んだまちと感じているか・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	(6) 障がいの有無にかかわらず理解しあう環境があると感じているか	86
	(7) 地域活動への参加意向 ************************************	
	(8) 地域活動に参加した、かかわった経験・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
	(9) 日常生活のなかで充実感や張り合いを感じる時	95

	5. 基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち 98
	(1) 区に取り組んでほしいこと 98
	(2) 生き物の豊かさへの満足度101
	(3) 家庭で実施している環境配慮行動
	6. 基本目標 4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち
	(1) 災害情報の入手手段
	(2) 防災に対する意識
	(3) 住んでいるまちの治安の変化 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11:
	7. 区政への関心と要望
	(1) 大田区等の制度・施策・施設の認知度
	(2)施策要望 ······ 119
	(3) 区内施設の利用目的
	(4) 区の媒体の利用頻度
	(5) 必要な区政情報がわかりやすく届いていると感じているか ・・・・・・・・・・・・・・・ 135
	(6)オンライン化により行政手続は便利になったと感じているか ・・・・・・・・・・・・・・・ 13′
	(7) 区の職員の窓口や電話応対への印象
	(8) 区政への参加意向
	(9) 区政に参加したいと思わない理由143
	8. 自由意見
	基本目標1 未来を創り出すこどもたちが夢と希望をもって健やかに育つまち … 14
	基本目標2 文化を伝え育み誰もが笑顔でいきいき暮らすまち
	基本目標3 豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち 155
	基本目標4 安全・安心で活気とやすらぎのある快適なまち 158
IV	調査結果の概観
	1. 生活環境の満足度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・185